

2025 年度いわて男女共同参画サポーター養成講座
2025 年度市町村担当職員研修

～受講生の皆様へ～

御挨拶



岩手県男女共同参画センターは、
持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています



岩手県 環境生活部長

中里 裕美

2025 年度いわて男女共同参画サポーター養成講座の開講に当たり、御挨拶申し上げます。

受講生の皆様におかれては、日頃から、男女共同参画への関心を持ち、活動の実践に御尽力いただいておりますことに心より感謝申し上げます。

さて、皆様御承知のとおり、現在人口減少が大きな課題である中、地域社会が持続的に発展していくためには、性別に関わらず、一人ひとりが尊重され、共に参画できる社会の実現が必要です。

そのような中、県では、「いわて県民計画（2019～2028）」第2期アクションプランに基づき、「性別にかかわらず誰もが活躍できる社会づくり」に取り組むこととしており、「男女共同参画センター」を拠点とした男女共同参画の活動支援や、「いわて女性活躍企業等認定制度」をはじめとする女性が活躍できる職場環境づくり等のほか、今年度は、地域や職場における「固定的な性別役割分担意識」やアンコンシャス・バイアスの解消に向け、重点的に取り組むこととしております。

このサポーター養成講座は、地域における男女共同参画の推進を担う人材を養成するため、平成 12 年度から実施しているもので、これまでのサポーター認定者は 1,364 人に上ります。

受講生の皆様には、第一線で活躍されている講師の方々からサポーターとして必要とされる知識を習得していただくとともに、講座終了後には全員がいわて男女共同参画サポーターとして認定され、県内各地において幅広く活躍されることを御期待申し上げ、挨拶いたします。



岩手県男女共同参画センター

センター長 山屋 理恵

この度は、2025年度岩手県男女共同参画サポーター養成講座を受講いただき、誠にありがとうございます。

また、本講座の開催にあたり、ご登壇いただきます講師の皆様、並びにご協力いただきました関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。

本年は、女性が参政権を得て 80 年、国際女性デーが提唱されて 50 年、日本が女性差別撤廃条約を批准して 40 年、そして第 4 回世界女性会議で「北京宣言・行動綱領」が採択されてから 30 年という節目の年にあたります。

このような歴史を踏まえ、男女共同参画の推進は、すべての人が生きがいを感じられ多様性が尊重される社会の実現とともに、急速に進行する少子高齢化や人口減少の中で、地域の活力の維持、向上のために 女性や若者をはじめすべての人がいきいきと地域で活躍し、安心してくらしていくための極めて重要な取り組みです。

地方が、そして私たちの岩手がその活力を高めていくためにも男女共同参画を推進し固定的な役割分担意識から解放され、すべての人が希望に応じてその個性と能力を十分に発揮することができる地域への変革するための取り組みの

推進が重要です。

そのためにも県内各地域における男女共同参画のリーダー、担い手としてサポーターの方々の存在はきわめて重要です。本講座は、地域で確実に取り組みを進めていくための6講座です。

これらの講座に共通するジェンダーギャップの解消はすべての人の生きづらさを解消することを目的としています。そして、次世代に、より良い未来を引き継ぐために、今までの価値観や、固定観念にとらわれることなく、自分の意志で生き方を選択し、支えあいながら自分らしく生きられる社会「ウェルビーイングな社会」を目指すことにつながります。

この岩手に生きるみなさま一人ひとりが幸福な生活を送るために、互いの人権を尊重し、家庭・地域・職場など様々な場面において、活動が広がるための有意義なものとなり、男女共同参画社会の実現むけた一歩となることを祈念し、挨拶とさせていただきます。



いわて男女共同参画サポーターの会

会長 武藏野 美和

2025年度の養成講座を受講されることを選択なさった方に敬意を表すとともにご挨拶申し上げます。

目まぐるしく変わる国際情勢の波に翻弄される社会にあって、一番大切なのは『自分』が自分らしく本来あるべき能力を発揮できるということです。それは何も大きな仕事を成し遂げるという意味ではありません。男女共同参画を学ぶとなると意識高めな人と線引きされることもあります。そこにはあらかじめ社会が生み出した垣根を作っているからかもしれません。社会が生み出したあるべき論によって〇〇らしさを求められることに『はて?』を感じ、話す場ができれば共感してくれる仲間が増えるかもしれません。その仲間作りも学ぶことから始まるのだと思います。そして、その一人一人は大人の男性、女性と二分されたものではなくあらゆる人々であると思います。

養成講座で認定を受けられた方々と共に歩み、学び続ける場としてサポーターの会に加入されることを期待いたします。